

報道関係者各位

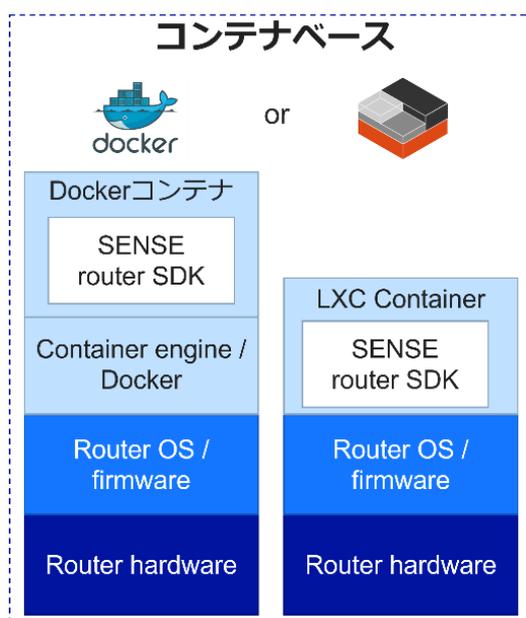
エフセキュア、ルーターメーカーを通じた ISP への F-Secure SENSE コンテナの提供を開始

～ サービス提供とメンテナンスを合理化するコンテナにより、インターネット接続プロバイダによる
コネクテッドホーム向けネットワークセキュリティソリューションの提供が容易に～

2021 年 10 月 12 日
エフセキュア株式会社

先進的サイバー・セキュリティ・テクノロジーのプロバイダである F-Secure (本社: フィンランド・ヘルシンキ、CEO: Juhani Hintikka、日本法人: 東京都港区、以下、エフセキュア) は、同社の ISP (インターネット接続プロバイダ) 向けゲートウェイセキュリティとエンドポイント保護サービスである「F-Secure SENSE」が、ルーターメーカーを通じたコンテナ形式でのソリューションとして ISP への提供が開始されたことを発表しました。

エフセキュアはこれまでも家庭においてインターネットに接続された全てのデバイスを保護することを目指し ISP 向けにサービスの提供を行ってきました。F-Secure SENSE がルーターメーカーを通じてコンテナ形式で供給されることで、ISP はファームウェアアップデートを使わずに F-Secure SENSE の展開を行うことが可能になり、ISP にとっては自社のブロードバンド接続会員に対してセキュリティサービスの提供／維持が効率化されることとなります。数百万人ものユーザーが所有するデバイスのセキュリティを管理する ISP にとって、新しいサービスの提供やライフサイクル管理は大きな悩みの種であり、コンテナ化は ISP がユーザーにより新しく、より良いサービスを提供することに集中できるように、この作業を簡素化するものです。



一般ユーザーにとっては、セキュリティソリューションを導入する上で ISP 経由での入手が最もシンプルな方法と言えます。2021 年にエフセキュアが実施した調査では、回答者の 64%がセキュリティ/プライバシー保護サービスを ISP から購入すると答えており、2015 年調査時の 56%、2018 年調査時での 60%から上昇しています。^{*1}

エフセキュアでコンシューマー部門のプリンシパルセキュリティコンサルタントを務める Tom Gaffney (トム・ガフニー) は、ルーターメーカーを通じた ISP へのコンテナ提供について次のように語っています。「ISP は、新サービスのタイムリーな提供開始に苦勞しています。F-Secure SENSE により、ISP はユーザーにセキュリティサービスの迅速かつ効率的に展開が可能となり、サービスの収益化の時間を大幅に短縮することができます。」

エフセキュアのコンシューマー向けサービスの詳細は以下のページをご覧ください。

<https://www.f-secure.com/en/partners/operators/solutions/connected-home-security>

*1

F-Secure consumer surveys conducted in 2015, 2018, and 2021 in Brazil, France, Germany, UK, and US, n=4000 (800 respondents per country).

エフセキュアプレスページ:

<https://www.f-secure.com/jp-ja/press>

エフセキュアについて

エフセキュアほど現実世界のサイバー脅威についての知見を持つ企業は市場に存在しません。数百名にのぼる業界で最も優れたセキュリティコンサルタント、何百万台ものデバイスに搭載された数多くの受賞歴を誇るソフトウェア、進化し続ける革新的なセキュリティ対策に関する AI テクノロジー、そして「検知と対応」。これらの橋渡しをするのがエフセキュアです。当社は、大手銀行機関、航空会社、そして世界中の多くのエンタープライズから、「世界で最も強力な脅威に打ち勝つ」という私たちのコミットメントに対する信頼を勝ち取っています。グローバルなトップクラスのチャネルパートナー、200 社以上のサービスプロバイダーにより構成されるネットワークと共にエンタープライズクラスのサイバーセキュリティを提供すること、それがエフセキュアの使命です。

エフセキュアは本社をフィンランド・ヘルシンキに、日本法人であるエフセキュア株式会社を東京都港区に置いています。また、NASDAQ ヘルシンキに上場しています。詳細は <https://www.f-secure.com/en/welcome> (英語) および https://www.f-secure.com/ja_JP/ (日本語) をご覧ください。また、Twitter @FSECUREBLOG でも情報の配信をおこなっています。